

※問と答の内容は、各議員本人が要約したものです。
※問の下の氏名は発言議員名です

市民生活

市営プール
開設の見通しは

問 福村 大井プールは事故により、上福岡運動公園プールは老朽化に伴い使用中止となり、ふじみ野市で身近に泳げる場所がなくなった。今後プール開設に向けての見通しは。

答 プール事故を風化させないためにも、最も安全で安心なプールをつくる必要があります。平成二十一年度に調査研究費を計上し、開設に向けて検討してまいります。

県道の振動と騒音対策

問 山口 県道さいたま・ふじみ野・所沢線の周辺住民から、騒音と振動に悩まされていると相談を受けた。調査し改善を求める。

答 調査の結果、騒音は昼間

も夜間も環境基準値を超えています。大型車の混入率は、朝四時ごろが最も高いという実態でした。県へ道路構造の改善や、低速度走行の規制を要請しました。

上福岡地域に
循環バスを

問 足立 「雨天時の自転車通学は特に危険」と、福岡高校側もバス運行を希望している。上福岡地域の循環バス運行の検討はどうなっているのか。市民の交通権を保障すべき。

答 東武バスのルートの検討結果次第です。
問 東武任せではなく、市が主体的に計画を立てるべき。

答 市民の要望にこたえ、慎重に検討いたします。
問 NPOの育成・支援
答 地方分権化が進



市民と行政の協働をサポートする施設（上福岡駅西口ココネ1階）

む昨今において、自立的な行政運営を実現するためには、専門性の高い多様なニーズにこたえられるNPO団体と行政との協働が不可欠と考える。当市におけるNPOの育成・支援の取り組み状況や、今後の方針は。また、現在の組織体制は適正か。

関する情報の収集、提供、相談、交流などの業務を行なっています。今後は、NPO団体との協働による新たな事業の推進等、さらなる充実を図ってまいります。また、担当課についても「コミュニティ推進課」の新設なども念頭に置いて、各種市民団体・NPO団体と行政との協働を推進してまいります。

女性総合相談と
DV対策の方針

問 小川 男女共同参画基本計画に「あらゆる形態の暴力の根絶」が基本目標に掲げられている。女性総合相談の充実とともに、DV（ドメスティック・バイオレンス）対策の今後の方針は。

答 特にDVの相談については、警察や県の各機関と連絡を取り、解決していきたい。被害者を保護するシェルターも、広域で実現したいと思っています。

地域の集会所と
分館への対応は

問 高畑 市民の一体感の醸成に向け、統合・融合を一日も早く進めるべきである。特に、市民生活における、地域の集会所と分館の問題についてどのように対応するのか。
答 上福岡地域では自治会集会所、大井地域では公民館分館となっていて、制度の違い

一般質問

学園町会地域に公園を

問 前原 関越道から文京学院大学にまたがるこの地域の核として、公園は必要。本来なら、どの程度の公園を整備しなければならないのか。
答 旧大井町のマスタープランで考えると、街区公園が想定されます。

問 地権者の協力を得て、早急に公園の整備を。
答 今後策定する「緑の基本計画」で、適正配置を計画します。

問 都市農業を守り発展を
問 新井 後継者の育成、安心・安全なものづくり、市民との交流・体験の推進を。

弁天の森の
自然保護と再生

問 新井 弁天の森フォーラムを開催し、市民参加で保護・再生ができないか。
答 自然環境に恵まれた草木や野鳥、昆虫など、身近な動植物と触れ合える貴重なこの森を恒久的に保存・保護するために、大井弁天の森保存会の意向を伺い、専門家や自然

環境

問 食の安全、地産地消は大きなテーマです。時代の要請に合わせた農業というものを、推進していきたいと思えます。

愛好家などを交えたフォーラムの開催や、市民参加による愛護活動などができるかどうか検討します。

市民農園への
積極的な取り組みを

問 堀口 市民農園、体験型農園をまちづくり及び環境政策として位置づけ、積極的な取り組みを。
答 農業後継者不足からすれば、休耕地を市民農園として活用することは有意義なものです。農地は、環境・農政の両面から保全していく必要があり、市民と土との触れ合いを推進していきます。

スモークングエリアを

問 田村 たばこのポイ捨てをなくすために、スモーク

美しいまちづくりのために
条例を

問 松尾 駅周辺、バス停、歩道等至るところにたばこの吸い殻、紙くず、空き瓶等の散乱が目にする。不快に感じる人も多い。美しい「ふじみ野市」とするため、ポイ捨て等の規制を盛り込んだ条例を。
答 ポイ捨てには、市民の方々も不快を感じています。この現状はモラルの欠如であり、他人への無関心や地域との関わりが希薄さからくる社会のありさまがそうさせます。他市でも条例化されている所もありますが、この解決には一人ひとりのモラルを高め、正していくことが必要です。当市には環境基本条例があり、道路の里親制度、自治組織と連携して、環境に優しい

旧新河岸川の
しゅんせつと保全

問 野沢 川越市の今泉地区及び富士見市東久保地区と、ふじみ野市の市境に接している旧新河岸川流路は、かなり長い期間放置され、流入したゴミと土砂で埋まっている。改善してほしい。
答 現地調査をして、ゴミや土砂のために川が埋まっていることは知っています。できるだけ早く改善を考えたい。

マイバッグ運動の推進

問 田村 今や3Rにリフューズを加えた4R運動が展開されている。これは「レジ袋いりません」というメッセージと考える。さらに業者へのマイバッグ運動推進を。
答 市内四五〇店舗で、マイバッグ運動を徐々に始めると聞いています。減量化のシンボル活動として業者へ呼びかけをしていきたい。

ごみ処理広域施設に
温水プールの併設を

問 福村 本年度、ごみ処

※街区公園とは？
地域に密着した身近な公園。公園を中心に、半径250メートル以内に住んでいる人が主に利用する。0.25ヘクタールの面積を目安に配置されている。

